

(1/2)
2007年4月2日

報道関係者 各位

～花や実が楽しみな苗木を育てませんか？ 売上の一部はマータイさんの植林運動へ寄付します～

『2007 ベルメゾンの森キャンペーン』4月2日(月)スタート！



お届けセット：ローレル（月桂樹）
テラコッタ鉢、記念ステッカー付



ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさん
（写真提供：毎日新聞社）

株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、CSR（企業の社会的責任）活動の環境対策の一環として、昨年に引き続きお客様参加型の環境イベント『2007 ベルメゾンの森キャンペーン』を2007年4月2日（月）からスタートいたします。

「ひとりが育てる木も、みんながそのひとりになれば、いつかは大きな森になる。」ご家庭で小さな苗木を育てていただき、楽しみながら環境保護活動の輪を広げることを目的に、昨年行われたキャンペーンは予想を上回る反響をいただき、ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんの植林運動へ合計300万円を寄付することができました。

今年は専用の Web サイト (<http://www.senshukai.co.jp/mori>) に、花や実などが楽しめる比較的育てやすい5種類（ローレル、さくらんぼ、もみじ、オリーブ、ブルーベリー）の苗木とテラコッタの鉢を合計限定5,000セットをご用意いたしました。セットには育て方のしおりに加え、参加の記念として参加番号（シリアルナンバー）が入ったステッカーもお付けしています。今回は新たに、フェアトレードの花束「マータイさんの国ケニアのバラ」も1,000セットをご用意しております。

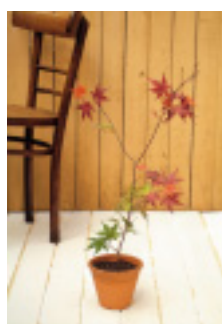
また、弊社は環境に対する取り組みでは初めてノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんが提唱する MOTTAINAI キャンペーンに賛同し、今年は『2007 ベルメゾンの森キャンペーン』の売上の三分の一に弊社からさらに同額を加えた最高600万円を、マータイさんが有志と創設した「グリーンベルト運動」へ寄付いたします（寄付は MOTTAINAI キャンペーン事務局の毎日新聞社を通じて行います。）これまでケニア全土で3,000万本の木を植えているこの運動は、自然保護にとどまらず、植林を通じて貧しい人々の社会参加の意識を高め、女性の地位向上の原動力にもなっています。

【千趣会の環境イベント「2007 ベルメゾンの森キャンペーン」概要】

キャンペーン名	2007 ベルメゾンの森キャンペーン
キャンペーン web サイト	http://www.senshukai.co.jp/mori
キャンペーン実施期間	2007 年 4 月 2 日 (月) ~ 2008 年 3 月 31 日 (月)
苗木の種類	ローレル (月桂樹)、さくらんぼ、もみじ、オリーブ、ブルーベリー (限定合計 5,000 セット)
	予約販売・フェアトレードフラワー「マータイさんの国ケニアのバラ」 (限定 1,000 セット)
販売価格	1 セット 1,500 円 (税込) うち 500 円を寄付いたします。
寄付先	毎日新聞社を通じてワングリ・マータイさんの「グリーンベルト運動」



さくらんぼ



もみじ



オリーブ



ブルーベリー



フェアトレードの花
「マータイさんの国ケニアのバラ」

千趣会の海外植林活動 < 使った分だけ、木を植えよう >



**カタログ使用全量分をまかなう規模の植林を。
私たちは大きな夢に着手します。**

千趣会が発行するカタログは年間約 1 億冊、約 4 万トンのパルプを消費いたします。このため、千趣会では紙問題は最大の環境問題であると認識し、1993 年からオーストラリアで約 24,000 ヘクタール規模の植林事業に共同参画しておりますが、当社の貢献分は、カタログ使用量の 20% にすぎませんでした。

創業 50 周年を機とした新たな目標は、カタログ使用全量分の収穫量。そのため 2006 年はラオスでの植林事業にも参画し、45% までの収穫を見込んでいます。
木を植え、育てる。育った木を伐採して紙の原料を作る。再び木を植える。少しでも多く、そして近い将来の自給自足のために。私たちは、本気で植林事業に取り組みます。

本件に対するお問い合わせ先

株式会社千趣会 大阪市北区同心 1-6-23 総務・IR 広報部 IR 広報チーム 田島・有江
TEL06 - 6881 - 3100 FAX06 - 6881 - 3050 E-mail m-tajima@senshukai.co.jp